

標準準拠対応戸籍システム構築業務公募型提案コンペティション評価基準

提案内容に応じて、次の係数により評価する。

区分	係数
A 高いレベルの提案	1
B 標準的な提案	0.6
C やや低いレベルの提案	0.4
D 評価に値しない提案	0

No.	提案項目	審査基準	配点
1	会社概要について	提案ベンダ、システム開発ベンダ、サポートベンダについての体制は十分なものか 提案システムの導入・稼働実績はあるか ISMS/プライバシーマーク等の取得はあるか 戸籍・戸籍附票システム標準化の実績はあるか	25
2	提案体制について	プロジェクト体制（PM、SE、サポート要員、協力会社との連携を含む）は十分なものか 戸籍・戸籍システム標準化に精通した技術者の配置はされているか	15
3	業務の工程計画について	現行データの分析・移行方式（移行ツールの有無、移行精度の確保方法）は適切なものか 提案システムの構築スケジュールについて、可能な限り早い時期での稼働が可能となっているか 移行テスト計画（リハーサル回数、検証方法）は適切なものか	45
4	システムについて	システムの全体像（システム構成図等）は示されているか、またはそれは本市とのネットワークが整理され管理主体が明確化されているか システム基盤の管理体制は十分なものか システム基盤との通信方法は適切なものか システム運用に係る障害対策は適切なものか（SLA案でお示しください） 外字管理体制は十分なものか 外字管理方法は適切なものか 戸籍附票との連携は適切なものか	50
5	運用サポートについて	プロジェクト体制（PM、SE、サポート要員）は十分なものか 戸籍業務に精通したサポート要員は配置されているか コールセンター等の拠点は設置されているか コールセンター等の体制は十分なものか 過去のサポート事例を職員に提供出来る提案があるか 職員をサポートするツール等の提案があるか 職員の教育・学習を支援するツール等の提案があるか 法改正に関する情報提供やサポート体制等の提案があるか	40
6	セキュリティ対策・個人情報保護について	データ暗号化、アクセス制御、ログ管理は適切なものか	5
7	業務継続性・将来性について	法改正や不具合に対するバージョンアップ方針（標準仕様改訂への追随）はコスト面を含めて適切なものか 事務処理の効率化など、業務継続性・将来性に向けた独自提案があるか	20
	合計		200

見積金額による加算点

審査項目	審査基準	配点
構築費用等上限額	$加算点 = (1 - \text{見積金額} / \text{上限金額}) \times 75$ ※小数点以下切り捨て	75
運用保守費用等上限額 ※（60カ月分）	$加算点 = (1 - \text{見積金額} / \text{上限金額}) \times 75$ ※小数点以下切り捨て	75
合計		150